

事業活動温暖化対策 計画書提出書（義務）

2026 年 7 月 7 日

長野県知事 殿

住所： 松本市征矢野二丁目 7 番 1 6 号
（法人にあっては、本店又は主たる事務所の所在地）

氏名： 信州名鉄運輸株式会社
代表取締役社長 有馬 正純
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

長野県地球温暖化対策条例第12条第 3 項の規定により、事業活動温暖化対策計画書を提出します。

事業活動 温暖化対策計画書	別添のとおり			
温暖化対策 責任者	工場等の名称	本社	部署名	管理本部
	所在地	〒 390-1242		
		松本市和田 4 8 6 1		
	氏名	丸山 貴之	役職名	常務取締役管理本部長
	電話番号	0263-40-1500	FAX	0263-40-1716
	電子メールアドレス	maruyamat@shinmei-net.co.jp		
計画書提出 担当者 (総括票)	工場等の名称	本社	部署名	管理本部
	所在地	〒 390-1242		
		松本市和田 4 8 6 1		
	氏名	丸山 貴之		
	電話番号	0263-40-1500	FAX	0263-40-1716
	電子メールアドレス	maruyamat@shinmei-net.co.jp		
温暖化対策 担当者 (個別票)	工場等の名称		部署名	
	所在地	〒		
	氏名			
	電話番号		FAX	
	電子メールアドレス			

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	信州名鉄運輸株式会社					
代表者名	氏名	有馬 正純	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	松本市征矢野二丁目 7 番 1 6 号					
主たる事業の分類	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	4 4 道路貨物運送業				
主たる事業の概要	一般貨物自動車運送業（特別積合わせ貨物運送を含む）					
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☒	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☐	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	962				
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	1,773				
	調整後排出量	t-CO ₂	1,773			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0				
自動車の台数	台	449	440			
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	11,286	10,812			

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2025	年度	計画期間	2026	年度～	2028	年度
報告対象年度		年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

☒	ホームページ	HPアドレス	https://www.meitetsuunyu.co.jp/shinshu/			
☐	印刷物の閲覧	閲覧可能場所				
		可能時間				
		担当部署				
		連絡先				
☐	その他					

様式 1 号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

信州名鉄運輸株式会社における「環境方針」は、地球にやさしい環境と省エネ・コスト削減に徹した安全輸送の確立を適用する

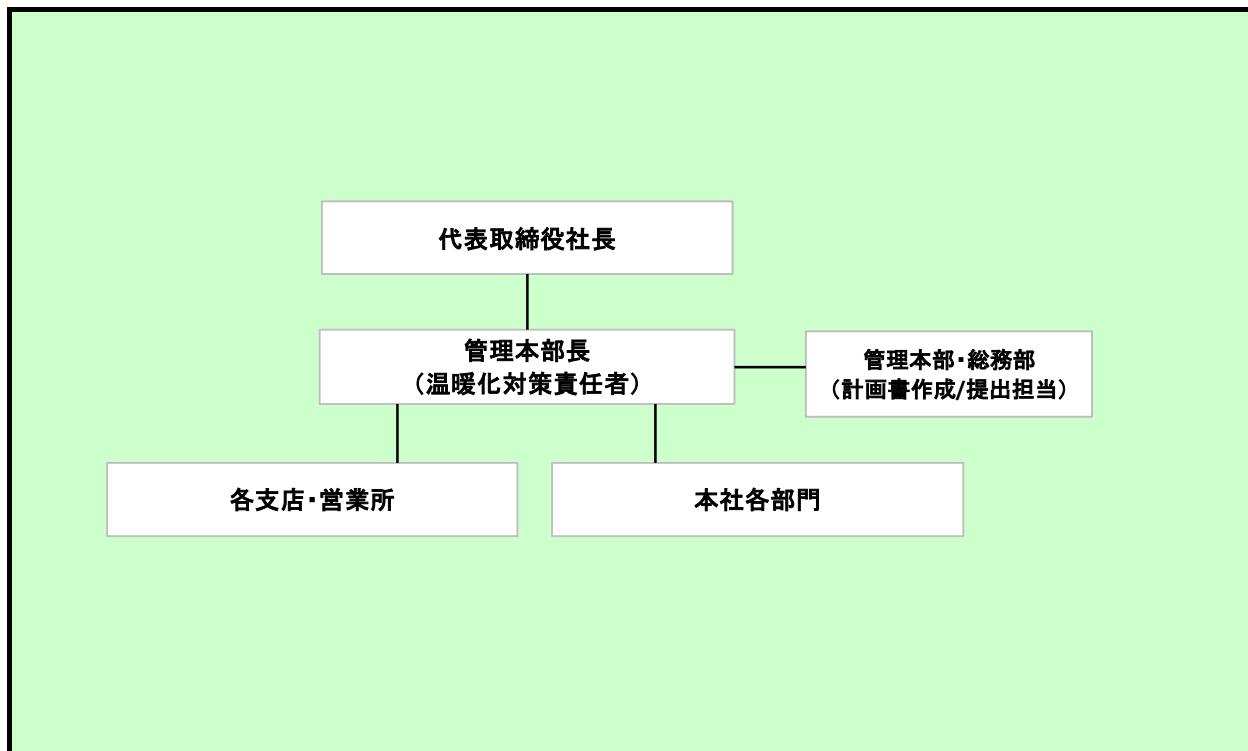
【2026年度環境改善の重点】

1. 従業員に対する環境改善の指導・教育を見直し、環境保全の共有化を図る
2. デジタコデータを活用したエコドライブの取行により燃費向上を実現する
3. E V車両の導入、リフトの電動化を推進し排出ガス・騒音の低減を図る
4. リサイクルの取り組みを強化し、ゴミの排出量、処分量を削減する
5. Scope 1、Scope 2 の可視化に取り組み、環境改善状況の判断基準とする

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	C02排出量5%以上削減（2019年度比） 2030年度10,493t-C02 最終目標：2050年度C02排出量ゼロ			
削減計画の概要	運送事業において排出されるC O 2 排出量の削減に向け以下に取り組む ・デジタコデータ活用によるエコドライブ徹底 ・運行効率化と積載率向上を行ない、実運行車両台数を集約 ・リサイクルの取り組み強化（廃棄パレット処理等） ・リフトの電動化、E V 車両導入								
イニシアチブ 参画状況	☐	SBT	☐	RE100	☐	再エネ100宣言 RE Action	☐	その他	

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

取り組み内容により不定期に会議体を開催
(車両ニュース・通達等で、燃費実績及び燃費向上への取り組み展開)

様式 1 号
(総括票)

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	11,286	t-CO ₂	走行距離	1,714.54	単位	万km
2025 年度	調整後排出量	11,286		基準原単位	6.58	t-CO ₂ /	万km
目標年度	目標排出量	10,812	t-CO ₂	目標原単位	6.32	t-CO ₂ /	万km
2028 年度	目標削減率	4.19	%	目標削減率	4.00	%	
目標設定に関する説明	代替車両を次世代自動車・クリーンディーゼル車とする事で、個車機能アップによるCO2排出量削減を加速させることと同時に、同業他社及び顧客の協力に基づく輸配送の協業化推進や、幹線輸送と貸切輸送の集約による効率化、また1車両当りの積載効率アップ施策等でCO2排出量の削減を目指す。2030年度5%削減（2019年度比）を目指す						
第一年度	排出量		t-CO ₂	走行距離		単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2026 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	走行距離		単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2027 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	走行距離		単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2028 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量等の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ～ II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握	実施済	実施済				
	I-2	エコドライブの励行	実施済	実施済				
III	III-1	次世代自動車の導入計画	実施済	実施済				
IV	IV-1	次世代自動車の導入	実施済	実施済				

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	自動車		クリーンディーゼル車の導入率100%を目指す	2026～ 2028	360		
2	自動車		輸配送集約・協業配送推進	2026～ 2028	30		
3	エネ起	発電設備	太陽光発電導入（200kw規模）	2028	100		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	200			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書（再エネ指定）	千kWh/年					
J-クレジット（県内産に限る）	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット （森林CO ₂ 吸収評価認証制度等）	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 （自家消費、PPA、自己託送等）	千kWh/年	0	241			
再生可能エネルギー電気 （小売電気事業者からの買電）	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	14	1,773						
合計	14	1,773						

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0			

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車	2			
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車	392			
その他 (ハイブリッド等)	19			
合計	413	0	0	0
自動車総数	449			
次世代自動車導入割合	92			

1 4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の 利用促進	該当なし
自転車の 利用促進	該当なし
来客者の交通対策／ 社用車等の移動に伴う取組	該当なし
電気自動車用充電 設備の設置／ 電気自動車の導入	事業用車両としてEVトラック 2 台導入
物流の合理化	集配車両の車格大型化による台数集約、複数物流センターにおける店舗配送・調達輸送の共同輸送による効率化推進、幹線便集約に運行台数削減

1 5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☐	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している	
		名称	
☐	ZEB	の認証を取得している	
SDGs		長野県SDGs推進企業登録制度へ登録している	2020

1 6 先進的な取組

1 7 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

CO2排出量の削減のためには、燃料消費量の削減、走行距離の見直し、輸送の効率化などの施策を複合的に取り組む必要があるが、運輸事業においては収入減やコスト増に繋がる可能性もあることから、収支バランスを見極めつつ、より効果的な手法を見つけていくことが重要だと考え、今後も取り組んでいく。